

岩倉市人口ビジョン(素案)

～抜粋版～

平成27年11月

第3章 人口の将来推計

1 推計方法

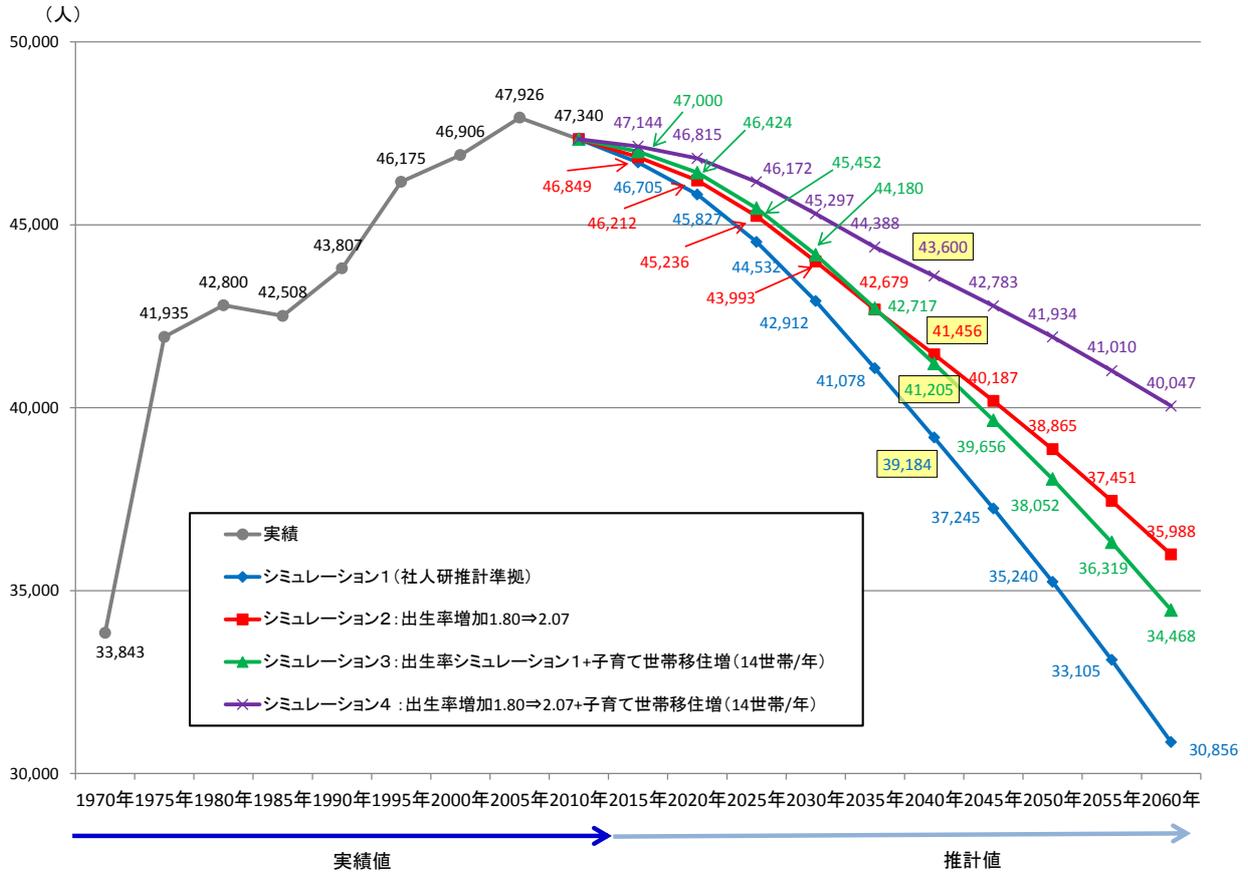
国立社会保障人口問題研究所が推計した合計特殊出生率、生残率、純移動率をベースに用いてコーホート要因法により、以下の4方法で推計を行いました。

推計方法	出生・死亡に関する設定 (出生率・生残率)	移動に関する設定 (純移動率、移動数)
シミュレーション 1	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「合計特殊出生率」、「生残率」を採用 	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「純移動率」を採用
シミュレーション 2	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年に2.07まで上昇すると仮定 ※国の長期ビジョンと同値 生残率はシミュレーション1と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
シミュレーション 3	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「合計特殊出生率」、「生残率」を採用 	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「純移動率」を採用 子育て世帯が5年間で70世帯(14世帯/年)流入超過するような移住・定住施策を行うと仮定 ※1世帯40歳未満親子4人想定
シミュレーション 4	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年に2.07まで上昇すると仮定 ※国の長期ビジョンと同値 生残率はシミュレーション1と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
シミュレーション 5	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率が2030年に1.60、2040年に1.80まで上昇すると仮定 生残率はシミュレーション1と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「純移動率」を採用 子育て世帯が5年間で50世帯(10世帯/年)流入超過するような移住・定住施策を行うと仮定 ※1世帯40歳未満親子4人想定
シミュレーション 6	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年に2.07まで上昇すると仮定 ※国の長期ビジョンと同値 生残率はシミュレーション1と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 国立社会保障人口問題研究所の推計による「純移動率」を採用 子育て世帯が5年間で50世帯(10世帯/年)流入超過するような移住・定住施策を行うと仮定 ※1世帯40歳未満親子4人想定

※生残率：ある年齢集団（5歳階級）が一定期間後（5年後）に生き残っている比率のこと。

2 推計結果

■人口推計結果（総人口）



■人口再推計結果（総人口）

